

# い ま り NPO 法人伊万里はちがめプラン

生ごみを宝に持続可能な地域社会を目指して



生ごみ堆肥化実験プラント



はちがめ直売所「風道」

海外からの研修生の見学

## 取組概要

- 飲食店のグループがH9年に商工会議所の協力を受け、生ごみ堆肥化の研究を開始。H15年に当法人設立。
- 生ごみ堆肥化実験プラントがH12年に完成。現在、一般家庭300世帯、食品関連71事業所の参加協力によって年間500トンの生ごみを回収し、良質な堆肥250トンを生産。
- 市内の小学4年生約300名に対して当法人の環境活動の実践を通して環境教育を16年間継続実施。

## 活動成果

- 生ごみ焼却費年間2,000万円の節約を実現。農産物直売所(会員40名)と連携して環境保全型農業を振興。
- 環境フォーラム、グランドゴルフ大会の開催及び市内全保育園への菜の花苗配布により菜の花栽培を推進。
- 小学生への環境教育の結果、校区内団地の120世帯が生ごみ分別グループへ参加。全国からの視察者やジャイカ紹介による東南アジア等海外からの研修生への啓発活動も実施。

ゆきのうら  
特定非営利活動法人 雪浦 あんばんね

世界と繋がるゆきのうら



自宅を開放して、訪問客受入



ゲストハウスで留学生たちが合宿

取組概要

- ゴールデンウィーク期間中に4日間開催する地域回遊型イベント「雪浦ウィーク」をH11年以来、毎年開催。
- 年間を通じた活動の創出に向け、H27年にNPO法人化。カフェレストランを開設するとともに、隔月第4土曜日にマルシェを開催。
- H30年に空家を改修し、ゲストハウスをオープン。放棄地を開墾し、1.4haを「あんばんね農園」として開設。

活動成果

- 住民の自宅や工房などを開放し、開催する「雪浦ウィーク」は毎年1万人を超える来訪者で賑わう。
- ゲストハウスの宿泊者数は、英語版HPの開設等もあり、R元年に入りインバウンドが急増。また、老人昼食会、同窓会、演奏会などコミュニティカフェとしても活用。
- あんばんね農園では、移住者3人が地元住民とともに野菜・麦・米の無農薬、有機肥料栽培に取り組んでいる。
- 地域の大学が、地域づくりフィールドとして雪浦を活用。当法人と連携した活動となっている。

# 熊本県立菊池農業高校 グリーンライフ研究班

## 農業高校生が興す！田舎の萬屋プロジェクト

②経済効果を産み出そう…イベントによる検証

全長3kmのコース

チェックポイント①  
耕作放棄地の除草

チェックポイント②  
俵挙げ

チェックポイント③  
ヤギのスケッチ

チェックポイント④  
筋トレ

チェックポイント⑤  
畑の天地返し

高校生が先生役の体験塾

1回200~300円の価格設定で、まゆだまクラフト体験も実施

得られた収益金を全額提供

課題をかかえる地域の経済的な応援に！

体を動かしつつ、農村の活動に挑戦して  
3人1組のチーム戦で、順位を競い合う！

### 取組概要

- H26年、農業科のメンバを中心に編成。大学、他高校や各種団体とも連携して多彩な地域づくり活動を展開。
- 農業高校生が先生役となって小中学生を対象とした座学・実習の農業体験塾を実施。地域資源のヤーコンを使って、農村民泊で提供する炒め物など食事メニューを開発。
- 養蚕学校だった歴史を活かし、繭玉クラフト体験を地域のイベント等で提供。収益金は地域に全額寄付。

### 活動成果

- 農作業をクリアしながら3人一組で農村を走るオリジナルイベント「農村アスロン」では、賞品・食事・お土産により、直売所の売上げ向上に貢献。
- 活動を通して多様な世代と接することで、農家の跡取りは自信をつけ、非農家メンバも農業系に進路を決めるなど、担い手が育った。
- PDCAサイクルによる研究活動で自主性が芽生え、課題解決の力がつき、科学性・社会性・指導性も向上。
- 今後は「田舎の萬屋」起業を目指す。

熊本県 芦北町

農林漁業、農村  
文化体験

企業との連携

コミュニティ部門

あしきた

## 芦北地域林業研究グループ

先人が守り育てた山林を未来に受け継ぐ



「産直住宅・山ツアー」



平成31年春のセンダン植栽地



高性能林業機械操作体験・指導

### 取組概要

- 水俣芦北地域の自伐林家など会員25名で構成。近年需要が高まっている早生樹センダン植林地を広めるため、視察、講習会、植栽を推進。
- H15年から産直住宅を推進。会員と設計事務所、工務店等が連携して年2回「産直住宅・山ツアー」を開催。
- 地元林業科の高校生に対する間伐や高性能林業機械操作等の技術指導を通して林業の魅力を発信。

### 活動成果

- センダンの累計植栽面積はH28年度の約1.5haからR元年度には約12haまで広がり、3年間で約8倍増加。
- 産直住宅の施工実績は直近3年間では12棟、累計57棟であり、安定した施工実績を確保。
- ここ数年の地元林業科高校生の就業先に占める林業関係業界の割合は3割から6割の高い割合で推移し、担い手育成に貢献。

芦北地域林業研究グループ  
熊本県葦北郡芦北町大字芦北2670

Tel: 0966-82-2524 Fax: 0966-82-2462

熊本県 湯前町

食育・教育

その他(地元食材  
の提供・活用)

コミュニティ部門

このみぞ

## 幸野溝土地改良区

世界かんがい施設遺産の里で学ぶ！



田んぼの学校inさがらむら



田んぼの学校inさがらむら



田んぼの学校inさがらむら

### 取組概要

- 農地や水路等の歴史と役割、それらを維持管理している土地改良区について普及啓発を推進。
- 地域住民や子供たちが農作業体験を通じ、農業・農業用水について学ぶ「田んぼの学校」、植林等の体験学習を通じ、農業用水と水源林の関わりを学ぶ「森林の学校」を毎年実施。
- 地元のグリーンツーリズム団体の会員として、土地改良施設を活用し、カヌー等での水路下りや隧道体験を実施。

### 活動成果

- 普段体験することの少ない農業体験や植林間伐作業を体験してもらうことで、自然・農業の大切さ、水土里ネットの役割を周知することができている。
- 子供たちは「農業はおもしろそう、楽しそう」等、農業に対する意識の変化や、さらなる理解も深めてきており、リピーターも増加している。
- H28年に、当土地改良区が維持管理する「幸野溝・百太郎溝水路群」が「世界かんがい施設遺産」に登録された。

幸野溝土地改良区

熊本県球磨郡湯前町2065番地

Tel :0966-43-2062 Fax :0966-43-7155

# 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

## 次世代につなげよう！世界農業遺産の輪



### 取組概要

- 平成25年5月「世界農業遺産」として認定を受けた後、「次世代への継承」「地域の元気づくり」の2つを柱に取り組み。
- 「次世代継承」として、小学生には教材本配布や作文コンクールを。中学生には、生産者等を講師とする授業や「中学生サミット」を。高校生には、生産者から聞き書きを行う取組等を実施。
- 「元気づくり」として、特産品の販路拡大につなげるため、シンボルマーク等を商品に表示する応援商品制度を創設。

### 活動成果

- 世界農業遺産の認定により、住民が自らの地域に誇りを持つきっかけとなり、ため池やクヌギ林でのウォーキング大会の実施や、「両合棚田」での大学生との田植交流会など、地域おこしが進展。
- 聞き書きに参加した高校生から「農業に携わりたい」等の感想が寄せられ、農林水産業を見直す機会となっている。
- 応援商品制度は、平成30年度末現在、51企業・団体の協力が得られ、221商品でシンボルマーク等を表示。

長崎県 松浦市

農 泊

農林漁業、農村  
文化体験

ビジネス部門

## 一般社団法人まつら党交流公社

### 松浦党の里 ほんなもん体験



地引き網体験



田植え体験



民泊

#### 取組概要

- 松浦市、平戸市、佐世保市で体験型修学旅行を受入。当公社は学校・旅行社への窓口対応等を、各市の13組織1団体は現場管理を、各組織に加入する会員(農林漁家)は修学旅行の受入を、それぞれ担う。
- 体験メニューは農林漁業、田舎料理、シーカヤック等84種類を提供。会員(450戸)は体験と民泊をセットで提供。また、修学旅行閑散期にインバウンドを含む一般客の受入れに向け、ホームページ作成等PR活動を実施。

#### 活動成果

- 年間160校3万人前後を受入れており、H30年度には、累計30万人を達成。一般客の受入も増加(H30年度769人)
- 生徒さんは、農林漁業と民泊の体験で、地域の食文化や生活、農水産物の価値を知り、コミュニケーション能力を高めている。受入れ側は、生徒さんが感動する姿を見て、自分の生業に自信と誇りを覚えている。
- 体験指導料や民泊料を始め、関係者の宿泊等地域の経済効果になっている。

一般社団法人まつら党交流公社  
長崎県松浦市志佐町浦免1808番地1

<https://www.honmono-taiken.jp/>  
Tel : 0956-27-9333 Fax : 0956-27-9334

大分県 豊後大野市

農林漁業、農村  
文化体験

伝統の継承

6次産業化

ビジネス部門

きよかわ ゆめいちば  
有限会社清川ふるさと物産館夢市場

地域が残れば「道の駅」も残る！！



### 取組概要

- 農産物直売所、レストラン、加工品開発、直営農場、移動販売事業や生活支援サービス事業等を実施。
- 目玉となる特産品や加工品開発に注力。糖度が非常に高い特産の桃「クリーンピーチ」とその規格外品を用いた「ももソフト」、女性グループが米麴を用いた伝統製法で作る「酒まんじゅう」を販売。
- 直営農場で特産のクリーンピーチや金ゴマ、トマトなどを生産。また研修プログラムにより新規就農者育成と農業技術の向上を推進。

### 活動成果

- 「クリーンピーチ」は幻の桃として人気を集め、「ももソフト」も年間3万個を売り上げ。「酒まんじゅう」は、年間13万個以上販売する看板商品となっている。
- これらの新鮮な農産物や特色ある加工品を求め、年間45万人が来場。地域の重要な集客施設に成長。また雇用者数は36名。地域の大きな雇用の場となっている。
- 都市住民を招いた体験農園や「酒まんじゅう」の体験教室の開催など、地域や農業への理解を促進。

有限会社清川ふるさと物産館夢市場  
大分県豊後大野市清川町砂田1574番地1

<http://mitinoeki-kiyokawa.com/06.html>

Tel : 0974-35-2117 Fax : 0974-35-2130



鹿児島県 南さつま市

6次産業化

輸出

ビジネス部門

せいこば  
有限会社 清木場果樹園

完熟きんかん等を使った加工品の開発の取組



金柑ジャム(左上)とその他のジャム



旧小学校跡地利用の加工場



加工の様子

取組概要

- 薩摩半島南端の温暖な地で百年3代続く柑橘農家。長年栽培していた温州みかんをきんかんに切り替え、樹上で完熟させる「完熟きんかん」を出荷。
- H8年に県の工業クラブの異業種交流会に入会。異業種つながりの中で金柑の種を取る技術を確認し、県内産黒糖、さつまいも発酵酸味液を使用した金柑ジャムを製造、商品化。
- 地域資源の不知火、たんかん、甘夏、河内晩柑でジャム・マーレードの商品を開発。

活動成果

- H27年からシンガポール、マカオ、台湾へのジャムの輸出を開始。輸出量はH27年の300個からH29年には3,000個に増加。
- 6次産業化の県内先駆者として、研修会や現地検討会等で体験発表を行うなど助言者として後進の育成に寄与。地元中学校の職場体験も受入。
- 地元の有機生産組合からの依頼による有機ジャムの受託加工、トマトやマンゴーの生産法人からの受託加工に取り組み、地域の6次産業化に貢献。

有限会社清木場果樹園

鹿児島県南さつま市加世田津貫10660番地 Tel : 0993-55-3260 Fax : 0993-55-3261

<https://seikoba.jp/>

鹿児島県 肝付町

6次産業化

輸出

農福連携

ビジネス部門

むらしょう

# 村商株式会社

全ての人へ感謝をエネルギーに！



直営生肉店と販売商品



地域資源のノコズを敷料に使用

## 取組概要

- H19年に飼育頭数16頭の和牛一貫経営を起業。畜舎環境、餌、水など「こだわりの牛づくり」を追求。直営の生肉店・焼肉店を併設し、黒毛和牛をリーズナブルに提供。
- 女性従業員の産前産後・育児・介護等の充実した休暇制度を導入。女性の目線を積極的に活かしたメニュー開発、SNS発信など。
- 完熟牛糞堆肥の田畑還元。木材、ノコズ等の地元の資源の有効活用。

## 活動成果

- 飼養頭数を着実に拡大し、H30年度は560頭。売上高は13億5千万円、肝付町などの店舗への来場者数は年間約8万人。台湾へも輸出。
- 従業員70名のうち45%は女性。過去4年間「離職率0%」を継続中。地元福祉施設に牛舎の軽作業を委託し、就労の場を提供。
- 肉牛品評会の地元出品牛の高額落札と直営店での販売、地元材木を利用した牛舎建設などで地域貢献。

村商株式会社  
鹿児島県肝付郡肝付町622-1

<https://www.shinmurachikusan.com/murasho/>  
Tel: 0994-45-5098 Fax: 0994-45-5095